

令和3年度の基本方針(事業計画)と自己点検・自己評価と外部評価について

重点目標	関連する評価指標		令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	達成率	自己点検・自己評価	外部評価	
	基本的 運営方針	評価項目						
<p>1 地域の情報拠点としての情報資源整備</p> <p>(1) 蔵書構成の再検討や中長期的な収集方針に基づく資料選定を行うとともに、県民の多様なニーズに対する資料の収集、適切な資料管理と保存環境の改善を進める。</p> <p>(2) 山梨県図書館情報システムを活用し、デジタル化資料の充実と利用促進を図るとともに、新型コロナウイルス感染症対策として、webサービスや非接触型情報機器を活用した情報提供に取り組む。</p>	I	(2)貸出	388,000点	333,346点	85.9%	<p>・コロナ禍により、入館者数の回復が鈍いこともあり、貸出数は目標を下回った。しかし、年間を通じての情報サテライトや山梨関係資料コーナーでの資料展示や関係機関との連携展示、ブックリストの作成・配布など、感染対策と両立させながらサービスの充実を図った結果、貸出数は前年を上回り、例年の水準に戻りつつある。また、相互貸借は、コロナ禍でも増加傾向にあり、県民の読書に対するニーズは増大していることがうかがわれる。</p> <p>・図書館サービスの基礎となる資料の収集は、ほぼ目標値に達した。特に、課題別、対象別サービスの充実につながる課題解決資料、子ども読書支援センター資料の受入は、目標値を上回った。地域資料寄贈受入については、前年度より数値は上がったものの、目標値に達しなかったが、地域資料全体としては、新刊以外に古書を購入したことにより、ほぼ目標を達成した。出版状況等の情報収集を積極的に行い、多様なニーズに応えられるよう、今後も適切な資料収集・管理と活用促進に努めたい。</p> <p>・蔵書の充実が図られる一方で保存スペースの確保が懸念されていたが、令和4年度に書庫への書架増設の予算措置が認められた。適切な資料管理のため、書庫内排架計画を検討し円滑に作業を進めたい。</p> <p>・デジタルアーカイブ作成は、全国図書館大会山梨大会のオンライン開催の対応のため、予定通りに作業が進まず、目標値の約8割にとどまった。安定して提供できるよう計画的に作業を進めたい。</p> <p>・非来館型サービスの拡充として、前年度に続いて、国の交付金により電子書籍約1,300点を受け入れた。令和3年度の電子書籍利用は2,226点で、コロナ前の約2.3倍であり、前年度同様の高水準を保っている。</p>	<p>・感染対策とサービスの充実という二つの課題に対して、アフターコロナの図書館の在り方も含め議論していく必要がある。</p> <p>・コロナ禍で人が集まりにくい状況が続いたことから研修の参加者が目標に及ばなかった。オンラインによる研修など、参加方法等の工夫が必要である。</p> <p>・図書館資料の収集は、ほぼ目標を達成した。今後も継続して資料費を確保し、資料の充実が図れるよう引き続き努力してほしい。</p> <p>・資料の充実が求められる一方で、増え続ける資料を保存するスペースは限られている。資料の保存計画について長期的な視点をもって検討する必要がある。</p> <p>・コロナ禍による人流減少の中で、感染対策と両立させながら貸出数の回復が見られることに、工夫と努力の成果が出ていると思われる。特に相互貸借、電子書籍の受入などの増加は評価できる。</p> <p>・非来館型のサービスは、今後もニーズが高まると考えられる。電子書籍の充実など計画的に整備を進める必要がある。</p> <p>・デジタルデータの需要増加や非来館型の利用が見込まれることから、ホームページの更なる充実が必要である。</p>	
		(3)相互貸借	5,762点	6,059点	105.2%			
		(4)所蔵資料	998,243点	995,543点	99.7%			
	II	(7)地域資料寄贈受入	5,000冊	2,443冊	48.9%			
		III	(9)ホームページアクセス	292,875件	261,780件			89.4%
			(13)多言語資料所蔵数	9,688点	9,582点			98.9%
	IV	(16)主催研修参加者	1,225人	600人	49.0%			
		(17)子ども読書支援センター資料	3,000件	3,276件	109.2%			
		(18)課題解決資料	2,393冊	2,427冊	101.4%			
	VI	(23)地域資料	95,903冊	95,740冊	99.8%			
(24)デジタルアーカイブ作成		4,300枚	3,263枚	75.9%				
<p>2 レファレンスサービスの周知とサービス対応能力の向上及び中高生の利用促進</p> <p>(1) 県民が図書館の資源を有効に活用し、知識や情報を得るためのレファレンスサービスを充実させ、周知する。</p> <p>(2) 課題別、対象別のサービスを充実させるため、専門分野に対する職員の対応能力向上を図る。</p> <p>(3) 中高生との協働や学校への情報提供により、中高生の読書活動の推進と図書館の利用促進を図る。</p>	I	(1)入館者	920,000人	365,735人	39.8%	<p>・新型コロナウイルスは、前年度から感染拡大の波を繰り返し、令和3年8月8日～9月12日は感染拡大防止のため、閲覧エリアは臨時休館とした。その間、予約資料の貸出等は臨時窓口に対応した。また、年間を通じて、座席数や館内の滞在時間について大幅に制限する形となったため、入館者数は例年より減少した。一方で、貸出数は例年の水準に戻りつつあることから、入館者数の減少は、イベントや学習利用など、施設利用の入館者が減った部分が大きいと推測される。</p> <p>・感染対策のためのレファレンスデスクの閉鎖や、コロナ前より来館者数が少ない中で、調査相談の達成率は98.1%であり、感染対策と情報提供サービスの両立が図られている。調査相談件数のうちメールでの依頼は、コロナ前の令和元年度122件に対して、2年度は206件、3年度は233件と増加している。加えて、ウェブ予約件数や電子書籍の利用も増加していることから、ウィズコロナ時代の新しい生活様式が定着し、図書館の利用形態の一部が、非来館型サービスの利用(オンライン利用)にシフトしていることも推測され、職員体制の強化や、レファレンスツールの発信等、サービスの充実が求められる。</p> <p>・学校と連携した校外学習利用者は、感染対策として少人数での受入としたため対応できないケースもあり、目標値に達しなかったが、前年度33人から74人と倍増した。また、前年度は実施が困難だった館長および子ども読書推進担当による学校への派遣も再開し、図書館司書向けの講座で職員が講師を務めたり、大学の司書カリキュラムで講座を担当したことにより、講師派遣数は目標値を超えた。今後は派遣の依頼を待つだけでなく、ニーズに合わせたプログラムの検討や広報の強化、講師の育成が課題となる。</p> <p>・中高生の自習利用は、受入困難な状況が続いたが、令和3年11月中旬から、座席数・利用時間を制限しつつサイレントルームの一部を開放した。</p> <p>・地域資料のレファレンス件数については、ここ数年、目標値に達成していない。レファレンス事例の紹介やレファレンスデータベースの入力・公開等に引き続き取り組んでいきたい。</p>	<p>・コロナ禍による臨時休館や滞在時間の制限がある中で、調査相談件数が目標に近いことは評価できる。レファレンス・サービスは、図書館の主要なサービスのひとつであり、感染対策との両立に努めながら、引き続き向上を図って欲しい。</p> <p>・新型コロナウイルスの感染拡大も落ち着きを見せているとはいえ、今後の状況も楽観視はできない。新たな流行の可能性も見据えると、非来館型の利用は、今後も減少することはないと思われる。</p> <p>・レファレンス・サービスと同時に講座等への講師派遣増加をみると、職員の増員の検討とともに多様な分野の講師を務められるような人材確保・育成は重要な課題である。</p> <p>・ウィズコロナ時代の図書館界の流れとして、レファレンス・サービスのオンライン化がある。そのための環境整備や人材育成に取り組むべきである。</p> <p>・SNS活用件数は今後ますます増加していくことが予想される。新たな情報発信ツールとしてサービス内容の検討が期待される。</p> <p>・中高生の図書館利用促進のため、居場所づくりのため、感染対策を講じながら、校外学習や自習利用を継続してほしい。学校と連携した取り組みについても充実を期待する。</p> <p>・読書は健康寿命の長さに関係が深いというAI分析結果もあることから、中高年を対象とした取り組みを希望する。健康増進と読書を結びつけるようなサービスは地域貢献にもつながると思われる。</p> <p>・地域資料の充実を図り、地域レファレンスの増加に向けた取り組みを強化していただきたい。</p>	
		(2)貸出	388,000点	333,346点	85.9%			
		(3)相互貸借	5,762点	6,059点	105.2%			
	III	(9)ホームページアクセス	292,875件	261,780件	89.4%			
		(10)メディア掲載等	400件	320件	80.0%			
		(11)校外学習利用者	120人	74人	61.7%			
	IV	(12)SNS活用件数	2,067人	1,922人	93.0%			
		(14)調査相談	524件	514件	98.1%			
		(15)講師派遣	15人	24人	160.0%			
		(17)子ども読書支援センター資料	3,000冊	3,276冊	109.2%			
VI	(18)課題解決資料受入数	2,393冊	2,427冊	101.4%				
	(25)地域レファレンス件数	1,682件	762件	45.3%				
<p>3 外部の関係団体や図書館利用団体等との連携による図書館資料の利用拡大</p> <p>(1) 外部の関係団体や図書館利用団体等との連携について、新たな取り組みの可能性を探り、県民の課題解決や生活に必要な情報を提供する図書館として機能拡大を図る。</p> <p>(2) 交流事業・イベント等と連動した資料展示の実施など、図書館で活動する様々な団体と連携し、図書館の資料や機能の活用を進める。</p>	I	(1)入館者	920,000人	365,735人	39.8%	<p>・コロナ禍の影響は大きく、臨時休館、時間制限、人数制限等により、交流事業やイベントの中止が相次ぎ、外部団体との交流が難しい状況となった。新しい生活様式に対応した図書館機能を強化するため、ウェブ会議システム、飛沫防止用間仕切り、サーキュレーター、消毒用アルコールスタンド等を整備し、感染状況によって適宜制限を緩和しながら、活動の再開・継続に努めた。</p> <p>・利用制限が続く中、11月に全国図書館大会山梨大会がオンラインで開催された。コロナ禍に対応した研修会として、職員にとっては新たな試みで手さぐりの面もあったが、時間や距離を超えて県内外の図書館関係者と繋がれたことは良い経験となり、職員のスキルアップにもつながった。以後、オンラインでの会議・イベントの開催にも対応が可能となり、制約がある中でも新たな形での連携の足がかりとなった。一方、子ども向けのイベントや音楽会・展示会等、ウェブ開催がそぐわないイベントもあり、感染対策をとりながら、参加人数を限定するなどして継続した。</p> <p>・交流エリアの利用者数は前年と比べて10,000人以上増加したが、年間を通して、コロナ禍による利用制限が続いて、コロナ前の4割程度に留まった。稼働率は前年より7.9%向上し目標値に達したが、コロナ前と比較すると7割程度の稼働率に留まっている。感染状況等を見ながら適宜緩和し、利用者の利便性向上に努めていきたい。</p> <p>・連携展示については、比較的コロナの影響は少なく、ほぼ予定通りに実施することができた。計画的に予定を組んで企画を増やせたこと、新たに1階ナレッジスペースを展示場所に設定したことなどから、前年度を上回り、各団体やイベントと連携した図書館資料の利用につなげることができた。</p>	<p>・全国図書館大会の山梨での開催を契機に、オンラインによる会議・イベントに積極的に取り組んだことは評価できる。社会環境の変化に合わせて、対面、オンラインまたはハイブリッド開催などのイベント開催に対応できるような施設・設備の充実にも努めていくことが必要である。</p> <p>・感染対策を講じた上で、ウェブ開催がそぐわないイベントも工夫しつつ継続・拡大してほしい。</p> <p>・定期的に新聞掲載される子どもの本の紹介は、司書の仕事を知ってもらう上でも評価できる。さらに、図書館の他のサービスについても連載等で情報発信できれば、図書館を利用したことのない人への働きかけにもなるのではないかと。</p> <p>・一般的に図書館の利用者数は、新館開館時から漸減していくもので、そのスピードをいかに緩めるかが課題である。生涯学習施設の一つとして他機関と連携し、県民の情報ニーズに応えるイベントや展示ができていくか検証が必要である。</p> <p>・交流エリアの利用・稼働・連携企画は、いずれも高い実績値であり、利用者の期待を感じる。今後も活用促進を進めるとともに、連携による新規利用者の増加、事業内容の質的向上を期待する。</p>	
		(2)貸出	388,000点	333,346点	85.9%			
	II	(5)図書館協力員活動	1,968回	1,106回	56.2%			
		(6)企画事業参加者	8,909人	2,585人	29.0%			
		(8)やまなし読書活動促進事業	4,225件	4,281件	101.3%			
	III	(9)ホームページアクセス	292,875件	261,780件	89.4%			
		(10)メディア掲載等	400件	320件	80.0%			
	IV	(17)子ども読書支援センター資料	3,000冊	3,276冊	109.2%			
		(18)課題解決資料受入	2,393冊	2,427冊	101.4%			
	V	(19)交流エリア利用	41,139人	50,700人	123.2%			
(20)交流エリア稼働		50.1%	53.5%	106.8%				
(22)連携企画対象		136件	145件	106.6%				